様式第１号（第１０条関係）

2023年度業務実績報告書

提出日 2023年12月26日

１．職名・氏名　教授　笠井 恭子

２．学位　学位　博士　、専門分野　看護学　、授与機関　石川県立看護大学　、
授与年　2017年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **看護学概論**（1単位）1年生
②内容・ねらい ナイチンゲール看護論をとおして看護の定義、看護の役割を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら「看護とは何か」を学ぶ。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **健康生活支援演習**（1単位）1年生
②内容・ねらい ・対象理解・関係性構築のためのコミュニケーションに関する知識・技術を習得する。 ・地域住民の生活の様子、健康上の課題を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 ・模擬患者を使ったロールプレイを行い臨場感あるコミュニケーション演習を行う。 ・永平寺在住高齢者とのふれ合いから、関わり方や生活の様子を学ぶ。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **看護理論**（2単位）1年生
②内容・ねらい 主要な看護理論家の看護理論の内容を理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、グループワーク、ディスカッションを取り入れながら看護理論を学ぶ。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **看護倫理学**（1単位）2年生・4年生
②内容・ねらい 医療倫理・看護倫理の変遷、医療に関わる倫理学の諸理論、医療倫理の4原則・重要概念、ケアの倫理、看護倫理の重要概念について理解する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義、個人ワーク、ディスカッションを取り入れながら看護倫理学の基礎を学ぶ。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **看護過程展開論**（1単位）2年生
②内容・ねらい 看護過程を展開する技術を学習する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 看護診断とは何かを学び看護診断名をつけることができるように支援する。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 **看護研究方法論**（1単位）3年生
②内容・ねらい 看護研究の必要性と主要な研究方法、看護研究の研究倫理、倫理的配慮について理解する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
4年生の卒業研究につながるよう学生の研究疑問に基づき研究計画書を作成する。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
基礎看護発展セミナー（1単位）4年生

②内容・ねらい
看護実践と看護理論のつながりについて文献検討を行った上で、看護学実習で受け持った事例について看護理論を活用しまとめることができる。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
上記を達成するため少人数のゼミ形式ですすめる。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
基礎看護学実習Ⅱ（2単位）1年生

②内容・ねらい
受け持ち患者の看護過程を展開し、看護者としての基礎的態度を身につける。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
卒業研究（3単位）4年生

②内容・ねらい
自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ卒業研究論文としてまとめる。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
看護マネジメント学特別研究（10単位）大学院2年生

②内容・ねらい
自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ修士論文としてまとめる。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
健康生活科学特論（2単位）大学院1年生

②内容・ねらい
主要な看護理論家がとらえる人間と健康・生活上の課題の解決方法について理解する。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
講義、ディスカッションにより、看護学において人間をどのように理解するかを学ぶ。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
研究倫理特論（2単位）大学院1年生

②内容・ねらい
人を対象とする研究一般における臨床倫理について理解する。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
講義、ディスカッションにより学びを深めて、自らの研究活動に活かせるようにする。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
看護実践開発演習（4単位）大学院1年生

②内容・ねらい
自己の研究課題と関連させながら、実践的な研究プロセスを理解する。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
エビデンスに基づく看護実践の開発に関する関連論文の抄読、ディスカッションを行う。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
健康基礎科学特別研究（6単位）大学院1～3年生

②内容・ねらい
自己の研究課題に対して研究のプロセスをふみ博士論文としてまとめる。

③講義・演習・実験・自習運営上の工夫
学生の学習の進捗状況に合わせた個別指導を実施する。

(2)その他の教育活動

基礎看護学方法論Ⅶ(看護と研究)（6時間）福井県立看護専門学校非常勤講師

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【0 本】
②学術論文（査読あり） ・Partnership Nursing System における先輩看護師の新人看護師教育経験と教育的役割遂行との関連：坂口大介、笠井恭子、大久保清子、福井県立大学論集第 59 号、161-168、2023 【1 本】
③その他論文（査読なし） 【0 本】
④学会発表等 ・中堅看護師が副看護師長という新たな役割に向かう心理的プロセス：石山陽子、普照早苗、笠井恭子、第 27 回日本看護管理学会学術集会、2023 年 8 月、東京 ・コロナ禍に入職した新人看護師のストレス対処力とリアリティショックとの関連：野田恵、笠井恭子、平井一芳、第 27 回日本看護管理学会学術集会、2023 年 8 月、東京 ・本学健康生活科学研究科開設記念シンポジウム「睡眠と健康」2023 年 5 月 【3 件】
⑤その他の公表実績 ・福井県立大学シーズ集「生活習慣を改善して睡眠の健康を高める」 【1 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 ・科学研究費基盤研究（C）（一般） 長期寝たきり高齢者の自律神経活動を整えるケアの開発－爪もみに焦点をあてて－ 研究代表者、2019～2021 年度（2023 年度まで延長）
(3)特許等取得
(4)学会活動等
・本学・越前市・NTT 西日本 3 者情報通信技術（ICT）を活用した健康増進に関する連携協定締結 プロジェクトメンバー（2022 年 9 月～） ・福井県看護協会 50 周年記念 座談会ファシリテーター（2023 年 10 月 5 日）

５．地域・社会貢献活動

・近畿地方社会保険医療協議会委員（医院・薬局開設等の審査、2022 年 10 月～現在に至る） ・日本看護倫理学会代議員（総会の討議や議決に参加、2023 年 4 月～） ・福井県済生会支部理事（施設整備計画・予算・規程改定等の審議、2022 年 4 月～現在に至る） ・福井県衛生環境研究センター・健康福祉センター倫理審査委員会委員（研究計画の倫理審査、2014 年～現在に至る） ・福井県看護協会監事（財産や理事の業務執行を監査、2023 年 6 月～） ・福井県看護協会倫理委員会委員長（研究計画の倫理審査、2021 年～現在に至る） ・福井県看護協会認定看護管理者教育運営委員会委員（認定看護管理者研修生の評価、2022 年 4 月～現在に至る） ・福井県健康づくり推進協議会委員（健康づくり施策等の協議、2022 年 4 月～現在に至る） ・福井県保健師助産師看護師実習指導者講習会講師（看護協会における実習指導者を対象とした講習会で看護理論と看護過程を担当、2008 年～現在に至る） ・福井県立病院看護研究研修講師（看護師が実施する研究計画の助言、2022 年 4 月～現在に至る）

６．大学運営への参画

(1)補職
看護学科長（2021 年度～現在に至る）
(2)委員会・チーム活動
・部局長会議（2021 年度～現在に至る） ・大学院委員会（2023 年 4 月～） ・修士課程（看護学専攻）ワーキンググループリーダー ・博士後期課程ワーキンググループメンバー ・フィンドレー大学交流ワーキンググループメンバー
(3)学内行事への参加
・健康生活科学研究科開設記念公開講演会・シンポジウム　シンポジスト「睡眠と健康」（5 月 31 日） ・対面オープンキャンパス担当（2023 年 8 月 6 日） ・オンラインオープンキャンパス担当（2022 年 8 月 27 日）
(4)その他、自発的活動など